

北広島市「エルフィンロードクラブ」 清掃活動やサイクリングイベントに 取り組む

北広島市のエルフィンロードは、「自転車の駅」もあるサイクリングロードです。のどかな自然に囲まれ、車が走っていない、サイクリストや、散歩などに親しむ市民にとって、たいへん恵まれた環境にあります。ここをもっときれいに、楽しく利用しようと、市民グループが縁の下の力持ちとして頑張っています。



エルフィンロードクラブ会長

小山田 慶次 さん

ボランティアを募り、 市民共有の財産をクリーンアップ

団塊の世代がリタイアする時期を迎え「健康に良く、しかもエコロジー」という理由からサイクリングが注目を集めています。

旧国鉄の千歳線跡地を利用した一般道道1148号札幌恵庭自転車道の一部、北広島市区間8.1kmは、エルフィンロードの愛称で親しまれており、広葉樹をはじめとする天然林がサイクリングロードの左右に生い茂るとても気持ちの良いコース。森林浴気分を味わいながら、自動車の走行を気にする事無く、爽やかにペダルがこげると2004年10月16日の開通以来、すこぶる人気です。ここでは、開通する以前から「北広島市自転車道利用者会議」が招集され、利用方法を検討するなど、市民参加型の取り組みが積極的に行われてきました。その会議で座長を務めた小山田慶次さん（65）は、会議解散後、市民グループ「エルフィンロードクラブ」の会長として、幅広く活躍しています。

「お花見サイクリング」など イベントも主催

同クラブは現在13人で運営され、50～60代が中心。例えば平成20年の活動であれば、まず雪が溶け春を迎えると、シーズン開通に向け清掃作業。前の年の落葉が下水路をつまらせ水が路面に溢れたこともあり、せっかくの市民共有の財産を大事に使おうと、小山田さんたちが「皆でサイクリングロードを美しく！」と一般参加を呼びかけたところ、約50人のボランティアが集まりました。ちょうど平成20年が北海道洞爺湖サミットの年でもあったことから「北海道洞爺湖サミット応援エルフィンロードクリーンアップ作戦」と名付

け4月26日に実施。葉やゴミの清掃に加え、サイクリングロードの路肩の木の枝が伸び、自転車に乗っていると、その枝がバチバチと当たって危険なことから、枝の伐採も行いました。参加者それぞれがチェーンソー、ノコギリ、竹ぼうき、軍手などを持ち寄り、汗を流し、協力し合ったことでエルフィンロードは見事に復活。ここでは自転車以外にも、毎日のように散歩やジョギングをする姿が見られ、きれいになったことで、道路を利用する人たちに大変喜ばれているようです。

北海道でもちらほらと、桜の便りが届く5月の上旬になると、毎年エルフィンロードクラブ主催の「お花見サイクリング」が開催され、北広島市の総合体育館から札幌市白石区にある、知る人ぞ知る桜の名所「万生公園」まで、約30kmを往復。万生公園では桜を眺めながら持参したお弁当を食べ、楽しいひとときを過ごします。ほかにも秋には「ゆっくりサイクリング&焼肉」があるほか、小山田さんが札幌サイクリング協会の理事でもあることから、シーズン中、サイクリングイベントをエルフィンロードで行い、あらゆる年齢層に自転車の楽しさを伝えています。そのほか桜の植樹や秋にも清掃活動を行っています。

こうしたエルフィンロードクラブのサポートがあるからこそ、快適で安全なサイクリングが楽しめるのももちろんのこと、エルフィンロードには、全国的にも珍しいトイレや水飲み場を備えた「自転車の駅」があり、利用者に大変好評です。駅は芝生の多目的広場として整備され、車で来ることができるよう駐車場が設けられ、レンタサイクルがあるので手ぶらでサイクリングができます。

自転車で 札幌から鹿児島まで一人旅

小山田さんは学生時代から自転車に乗り始め、就職してからはしばらく仕事中心の日々が続きましたが、40代からまた風を切って、銀輪を光らせる喜びにすっかりはまったという自転車愛好家。しかも2年前に退職し、道庁赤レンガ前を出発し、26日間かけて鹿児島まで一人で自転車の旅を敢行した健脚の持ち主です。さらにリュックサックを背負い、南米8,700kmバスの旅にも行ってきました。ベニア板を削って版画の作品を作るのが趣味で、これまでもトルコなどへ出かけては美しい風景を、味わいのある木版画にしてきました。とにかくアクティブな人生を送っている方です。



お花見サイクリング



自転車の駅



春のクリーンアップ作戦

エルフィンロードクラブの活動に関しては「もう、この年齢になると損得なんて、全く関係ありません。とにかくボランティア活動を通して、たくさんの方に喜んでいただければ、それだけで満足」と、優しいまなざしが印象的です。

ただし「告知用のポスターもわたしの手作り、しかも1枚、1枚貼って回るので、会長兼雑用係でしょうか（笑）。あれこれ忙しくて、大好きな自転車に乗る暇もなくてね」と、少しだけ本音をのぞかせ、苦笑していました。

エルフィンロードで、小鳥のさえずりをBGMに新緑の中を駆け抜けるもよし、短い北海道の夏を友にゴールを目指し、秋は赤や黄色に染まった紅葉に自然の素晴らしさを感じながら走るのもいいでしょう。とにかく自転車の楽しさが満喫できる道路であることに間違いありません。そして、その縁の下の力持ちとなっているのがエルフィンロードクラブであることを、記憶しておきたいものです。

